



平成 26 年度施工技術報告会

主題「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」

土木学会認定
CPD 7075

共催 一般社団法人 日本建設機械施工協会関西支部
公益社団法人 地盤工学会 関西支部
一般社団法人 日本建設業連合会関西支部
公益社団法人 土木学会 関西支部

建設技術に関わる四法人では、直接、設計・施工・保全に携わった方々に施工技術の成果を報告していただく「施工技術報告会」を毎年企画しています。過去 38 回における当報告会には、官公庁・建設業・コンサルタント業をはじめ広範囲の多数の技術者に参加いただき、好評を得ています。

近年、事業の計画・立地に当たっては、現場の自然環境や住環境の保護といった観点から、種々の社会的要求が出され、事業者の企画の困難さは日に日に増しています。これに伴い、技術者も厳しい条件下での設計、施工を余儀なくされており、設計方法・施工方法・使用材料・施工設備など解決すべき問題は多岐にわたっています。このような困難な工事に対応するため、安全、環境との調和を前提に、施工方法の改善・開発さらには新材料・新技術の導入などに努めています。第 39 回目を迎える今回は、厳しい条件下で施工された工事の中から 6 件を選び、実際に施工に携わった技術者より施工事例を発表していただきます。日頃直面している諸問題について関係各位の相互啓発にたいへん参考になると存じますので、多数参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 : 平成 27 年 2 月 12 日 (木) 13:30~

2. 場 所 : 建設交流館 8 F グリーンホール 電話 06-6543-2551

大阪市西区立売堀 2-1-2 (地下鉄四ツ橋線本町駅 23 番出口より徒歩 5 分)

3. プログラム : (※都合により発表順序を変更する場合があります)

13:30~13:35	開会挨拶	一般社団法人日本建設機械施工協会関西支部 支部長	深川 良一
13:35~14:05	① 安全性向上、高環境性能、省電力を実現する坑内換気システムについて —丹波綾部道路瑞穂トンネル水呑地区工事—	佐藤工業株式会社 土木事業本部技術部機電課 課長 佐藤工業株式会社 大阪支店 瑞穂トンネル作業所 所長	○ 京免 継彦 中谷 幸一
14:05~14:35	② 山岳トンネルにおけるノンコア削孔切羽前方探査技術 —鳥取豊岡宮津自動車道(野田川大宮道路)道路新設工事(補助)第 14 トンネル工事—	京都府道路公社建設事務所 建設第一課 係長 株式会社大林組 大宮第 14 トンネル工事事務所 土木主任 株式会社大林組 大宮第 14 トンネル工事事務所 所長 株式会社大林組 生産技術部 トンネル技術部 副部長	秋田 伸治 ○ 渡辺 淳 窪之内 雄策 木梨 秀雄
14:35~15:05	③ 環境・保全に配慮した鉄道立体交差工事における国道 2 号仮橋撤去計画と施工 —山陽電鉄本線立体交差工事—明石川~西新町—	山陽電気鉄道株式会社 鉄道事業本部 技術部 大成建設株式会社 関西支店 山電明石立体交差工事作業所 所長 大成建設株式会社 関西支店 山電明石立体交差工事作業所 課長 大成建設株式会社 関西支店 山電明石立体交差工事作業所	村山 佳弘 木戸 浩幸 ○ 殿内 秀希 森田 時士
15:05~15:15	休憩		
15:15~15:45	④ 丹波帯の付加堆積物における 3 種類の探査による切羽前方予測 —丹波綾部道路 須知第二トンネル工事—	株式会社鴻池組 大阪本店 工事部長 株式会社鴻池組 大阪本店 須知第二トンネル工事事務所 所長 株式会社鴻池組 大阪本店 須知第二トンネル工事事務所 工事主任	斎藤 泰信 原田 建志 ○ 阪口 治

15:45～16:15 ⑤ 新旧構造物の一体化と耐震補強技術の開発
 ー阪神高速道路大和川線 三宝ジャンクション工事ー
 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所 所長 塚本 学
 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所 工事長 中釜 建治
 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所 工事長代理 木下 義康
 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所 主任 ○ 田島 祐介
 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部 大和川線建設事務所 技師 北村 将太郎
 鹿島建設株式会社 三宝ジャンクション工事事務所 工事課長 森 隆 英

16:15～16:45 ⑥ 金剛寺トンネル中間低土被り部工事
 ー那智勝浦道路金剛寺トンネル工事ー
 西松建設株式会社 金剛寺トンネル出張所 所長 岩角 仁夫
 西松建設株式会社 金剛寺トンネル出張所 主任 ○ 山本 悟

(※施工時の所属・役職名を記載しておりますので現所属・役職名と異なる場合があります)

16:45～16:50 閉会挨拶 一般社団法人日本建設業連合会関西支部 支部長 村上 考司

4. 定員： 200名 (先着順)
5. 参加費： 会員 4,000円、非会員 7,000円 (いずれも講演概要資料代含む)
6. 申込期限： 平成 27年 1月 16日 (金)
7. 申込方法：参加申込書に必要事項を明記し、参加費とともに現金書留にて下記へお送りください。参加証をお送りいたします。なお、納入された参加費の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。官公庁・公社公団等で参加費を別途お支払いの場合は、申込書の連絡事項の欄に請求書等必要書類をご指示ください。
8. 申込先： 一般社団法人 日本建設機械施工協会 関西支部
 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 谷町スリースリースビル 8F
 TEL 06-6941-8845 FAX 06-6941-1378 e-mail jcmakans@muse.ocn.ne.jp

平成 26 年度 施工技術報告会 参加申込書

連絡者	勤務先名称			所属学・協会名 ※いずれかに○	機械・地盤・建設業・土木	
	氏名・部署					
	所在地	〒				
	TEL :	FAX :				
参加者	氏名	CPD申請	勤務先部課名		合計人数	
		有・無				_____人
		有・無			参加費合計	
		有・無				_____円
		有・無				
		有・無				

連絡事項：